

<https://www.winespectator.com/articles/a-vertical-tasting-with-real-horsepower>

ワシントン州の天才クリストフ・バロンは密植の畑を馬のみで耕作し 圧巻のワイン、ホースパワーを造る。そのワインを垂直試飲した。

ティム・フィッシュ 2024年9月23日



ホースパワー・ヴィンヤードのオーナー、クリストフ・バロン（右端）は、ロックス・ディストリクトのブドウ畑でトラクターではなく、昔ながらの方法で耕作することを選んだ。（アンドレア・ジョンソン撮影）

ワシントンのヴィニユロン（ワイン栽培者）クリストフ・バロンは、アメリカで最高のローヌ・スタイル・ワイン「カユース（Cayuse）」でよく知られていますが、「ホースパワー（Horsepower）」というブランドは彼にとって個人的なプロジェクトです。1957年までシャンパーニュ地方で家業のブドウ畑を馬で耕していた祖父を持つクリストフは、ワラワラ・ヴァレーAVAでグルナッシュとシラーを密植で栽培することを決めた際、大きく筋肉質で、狭い畝間を耕すのに適したベルギー産の挽馬を購入しました。

クリストフ・バロンが初めてホースパワーをリリースしたのは2011年ヴィンテージで、それ以来、ワインは進化を続けています。先日、彼はワイン・スペクテーターのナパ・オフィスを訪れ、ミルトン・フリーウォーターにあるシュール・エシャラ（Sur Echallas）とトライブ（Tribe）の2つの畑から、2011年から2015年までの14種類のワインを非公式にテイastingしました。これらの畑は、どちらもロックス・ディストリクトAVAに位置し、ワラワラのオレゴン州側にあるこのサブ・オペレーションは、特徴的な野球ボール大の玄武岩の玉石で埋め尽くされた古代の川床です。彼のワインはリッチでフルボディながらも重くなく、アルコール度数が13.5%を超えることはほとんどありません。クリストフ・バロンは、畑のテロワールを最大限に活かすため、過剰なオークやタンニンに頼らず、すべてのワインをコンクリートタンクで発酵させています。「リリース時に繊細さと洗練さがなければ、瓶熟成後にそうなることはありません」と彼は言います。

2008年に植樹されたシュール・エシャラは、1エーカー（約0.4ha）あたり4,840本のブドウの木が3フィート（約0.9m）×3フィート（約0.9m）の間隔で植えられており、アメリカで最も密植されたブドウ畑のひとつです。クリストフ・バロンは、同じような間隔で植えられた畑を他に3つ所有しており、畑を耕作するための5頭の馬が常駐しています。2009年に植樹されたトライブは、3.5フィート（約1m）×3.5フィート（約1m）の間隔で、1エーカー（約0.4ha）あたり3,555本のブドウが植えられています。グルナッシュの苗木は、カリフォルニアの醸造家ジョン・アルバン（セントラル・コーストのエドナ・ヴァレーAVAにおけるローヌ品種のパイオニア）から提供されました。

高密植の背景には、ブドウの樹が互いに土壌の養分や水分を奪い合うことで、根がより深く成長し、最終的にテロワールの複雑な要素をより多くブドウに反映させる、という考え方があります。



ホースパワーのワインに使われる4つのブドウ畑は、ブドウの畝の間隔が狭いため、機械で耕作するよりも馬で耕作する方が土壌の圧縮が少なく、作業がしやすい。(アンドレア・ジョンソン撮影)

5つのヴィンテージをテイスティングした中では、2012年のワインが際立っていました。このヴィンテージは、ワシントンにとってクラシックな年であり、それを反映していました。

シュール・エシャラのホースパワー・グルナッシュは、バラの花びら、ローストした肉、赤い果実のコンポート、強烈なスパイスの香りが高く、トリュフなどのセカンダリーノートが現れ始めていました。

シュール・エシャラの2012年シラーは若々しく、深いブルーベリーとラズベリーの風味に、タブナード、砕いた石、ビーフジャーキー、トリュフがアクセントを添えていました。2012年トライブ・シラーは官能的な骨格とテクスチャーを持ち、生き生きとしたラズベリーとチェリーに、ブラックオリーブ、モカ、そして粘土陶器のニュアンスが混ざり合っています。ノンブラインドで評価したところ、3つとも100点満点中96点を獲得し、「クラシック」とされました。

以下は、他のワインの簡単な概要です。

ホースパワー シュール・エシャラ・グルナッシュ

2011: 私の引退した同僚、ハーヴェイ・ステイマンがブラインド・テイastingで94点を付けたこのワインは、今も素晴らしい色調を保っており、ハーブ・ド・プロヴァンス、チョコレート、煮詰めたイチゴ、黒トリュフの香りが感じられる。私もブラインドではなく94点を付けた。

2013: このワインはまだ力強い色合いを保っており、トリュフ、良質な大地の香り、フルーツケーキのようなスパイス、ブラックオリーブ、プラム、ラズベリーのニュアンスがある。ステイマンは94点を付け、さらに熟成が進んでいる。私も95点、ノンブラインド。

2014: これはブラインドでレビューした最初のシュール・エシャラのグルナッシュで、94点を獲得した。2014年は前のヴィンテージよりやや大地を感じさせ、ラズベリー、チェリー、トリュフ、オレンジがかったチョコレートが見事に調和した構造を持つ。7年後、否ブラインドで95点。

2015: ワシントンにとって素晴らしいヴィンテージだったが、かなり暑かった。若々しいブラックラズベリーとブラックベリー風味に、バラの花びら、オレンジピール、生肉のアクセントが加わった。否ブラインドで94点。

ホースパワー シュール・エシャラ・シラー

2013: ベーコンの脂、黒胡椒、ラズベリー、森林の床を思わせる力強い香り。ステイマンは当初このワインを92点と評価したが、否ブラインドの今の私にとっては94点。

2014: まだ非常に若く、ラズベリー、プラム、砕いた石、森林の床のアクセントを持つ骨格のあるワイン。時間が必要。最初のブラインド・テイastingと同じく93点。

2015: 濃く刺激的な深い風味を持ちながら、軽やかさも保っている。トリュフ、オレンジの皮、ブラックオリーブ、牛肉のニュアンス。当初は91点だったが、現在は94点。



ミルトン・フリーウォーターのロックス地区の土壌は、言うまでもなく、石畳のような大きな玄武岩が特徴である。(アンドレア・ジョンソン撮影)

ホースパワー・ドライブ・シラー

2011: ブラックベリー、ブルーベリー、バラの花びらのフレッシュで豊かなアロマと風味。ビッグだが可愛らしい赤。94点、否ブラインド。

2013: 少し大柄だが、洗練されている。ドライチェリー、ラズベリー、ブラックオリーブ、トリュフ、オレンジピールの香り。素晴らしい余韻の長さ。95点、否ブラインド。

2014: リッチでシルキーなブラックチェリー、ブラックベリー、すみれ、オレンジモカのアクセント。93点、否ブラインド。

2015: まだ急ぐ必要はない。ラズベリー、ブルーベリー、コショウ、ブラックオリーブのタップナー。95点、否ブラインド。

ホースパワー ヴィンヤーズ
Horsepower Vineyards

